

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月19日  
北海道運輸局

評価対象事業名: 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
ニセコ町地域公共交通活性化協議会	ニセコバス株式会社	<p>運行系統名: ニセコ町全域 町内全域を運行区域とするデマンド型運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運賃1乗降200円</li> <li>ドア・ツー・ドアサービスでの運行</li> <li>午前8時から午後7時まで毎日運行(平日のみ、午前7時台に一部地域からの路線を運行)</li> <li>車両及び台数 ワンボックスタイプ(10人乗り) 2台</li> </ul>	<p>利用者(あるいは利用案内をする宿泊事業者)向けに多言語での利用案内を作成し、乗合運行をするデマンドバスの理解・周知を図っている。</p> <p>宿泊税を活用した冬の周遊バスについて、町民も無料で利用可能であり、バスの認知度の向上と併せ町民利用も増えているところ。これにより、冬季の利用混雑緩和が図られていると考えているが、一方で冬季間の利用者減の要因の一つとも想定している。これらの状況については、デマンドバス単体の利用状況ではなく、町全体の移動需要と公共交通供給として評価すべきであり、特にリゾートエリアという特性を有し、冬季に観光利用による交通需要が極端に高まる中、デマンドバスと周遊バスが町民の暮らしに係る交通需要に役立っているものと評価している。</p>	A	A	<p>車両数は運行当初からの2台体制を維持しているが、特に冬季間の乗車希望に対し、所要時間の増等の影響もあり十分応えきれていない状況が続いている。これについては周遊バスの運行と併せて改善を図っていく。</p> <p>新システムによる運行効率改善を最大化すべく、利用者に対する乗合運行の理解・奨励の取組、あるいは周遊バスなど他の交通との連携を継続していく。</p> <p>主に町民向けにWEB予約を開始する予定であり、より利用者にとって利便性の高い交通として運行していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。</li> <li>いずれの目標も達成することができなかったが、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。</li> <li>持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率の改善に対する取組についてもご検討いただきたい。</li> </ul>	